



町内会広報

発行：玉川学園町内会 会長 田代 敏行

☎ 042-725-0438

✉ t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

🌐 <https://tamagawagakuen-chonakai.net>

玉川学園町内会

🔍 検索

ホームページ
アクセス



- 特集 - 2024年定期総会

2024年度の玉川学園町内会の定期総会は、一堂に会して対面による開催とさせていただきます。
コロナ感染も収束の兆しが見え、世の中の規制も緩和されつつある状況を鑑み、本来あるべき開催形式に致しました。

定期総会
開催までの経緯

昨年の会則改訂により、様々な状況を想定し、事前に回覧で出欠票・委任状または議決権行使書の提出をお願いし総会に直接来られない会員の声を反映できるように配慮いたしました。

書面表決済の
集計結果

投票結果

会員総数:3,554名
投票総数:2,762 投票率:77.7%

	賛成	反対	棄権・無効
第1号議案 2023年度事業報告	2,754	1	7
第2号議案 2023年度決算・監査報告	2,754	1	7
第3号議案 2024年度事業計画「方針と活動の進め方」	2,754	1	7
第4号議案 2024年度各部及び地区の事業計画	2,744	11	7
第5号議案 2024年度予算	2,752	2	8
第6号議案 2024年度役員立候補及び推薦候補	信任	不信任	棄権・無効
・会長 田代 敏行	2,743	2	17
・副会長 古河 博	2,738	2	22
・副会長 伊藤 宏	2,736	2	24
・副会長 洲 純男	2,746	0	16
・監査役 望月 富雄	2,741	0	21
・全区選出幹事 小木曾 雄介	2,741	0	21
・全区選出幹事 遠江 義智	2,741	0	21
・全区選出幹事 渡辺 哲也	2,236	0	※526

決定議案

〇2024年度事業計画「方針と活動の進め方」
事業計画と「方針と活動の進め方」は町内会活動の基本を定めたものです。以下の別枠に記載しております。

〇2024年度各部及び地区の事業計画

総務部

町内会公式LINEの拡大策、地域で活動している関連団体のイベントを積極的に支援する

経理部

予算の更なる健全化、経理作業の効率化

広報部

「町内会だより」「広報」の発行、町内会ホームページの本格運用及び公式LINEの運用管理

防犯防災部

登下校時の見守り活動の推進、防犯・防災広報活動、地区自主防災隊活動への支援、地区防災機材の整備、防災リーダーの育成

環境部

ゴミの廃棄量を減少させるための啓蒙活動、資源回収に係る活動、住環境に係わる建築協約の活動

コミュニティ部

多くの世代の方が参加でき、一時的ではなく継続的なコミュニティ形成に役立つ活動を目指す

〇2024年度予算
一般会計予算、特別会計予算が提議され承認されました。〇2024年度役員・全区選出幹事・監査役の選出について
本年度は全役員の改選期にあたる為、4月5日(金)選挙世話人代表、佐藤肇夫様立ち合いの下で立候補者、推薦者を確認し、候補者を選出いたしました。候補者については、総会で賛否を求め全員が選出されました。〇外部団体の活動報告及び計画
町田市町内会・自治会連合会をはじめとする関連団体、さくらんぼホール、こすもす会館などの活動報告と今年度計画について説明がありました。

報告事項

※書面表決書の不備により525件期限内未回収

〇2023年度事業報告

総務部

認可地縁団体への登録を完了、町内会公式LINEの本格運用開始、町内会60周年記念事業を実施、定期総会の取りまとめ、年間を通じて各定例会議の取りまとめ、町内会全体の課題解決への取り組み

経理部

予算の実施状況の把握と幹事会での定期報告、来期予算策定のとりまとめ

広報部

「町内会だより」を10回発行、広報「町内会広報134号」の発行、町内会各部行事に関する広報活動、町内会各種事業に対する広報活動、ホームページのリニューアル及び運用管理

防犯防災部

防犯計画の策定と防災活動の推進、防災倉庫の備品整備、防犯・環境パトロール、各地区での防災訓練支援、街路灯の点検、街頭消火器の点検、防犯カメラ管理、わんわんパトロール事業の推進、こころ児童館・幼稚園・保育園の合同防災訓練を支援、防災体験学習の実施

環境部

資源集積所の管理、資源回収事業の実施、善意の傘の維持活動、憩いの椅子の維持管理、建築協約の活動（開発事業者の窓口業務）

コミュニティ部

関連団体との協力連携、青少年健全育成玉川学園地区委員会に参加し「秋の子どもまつり」で昔遊びを担当、地区社協と協力、気軽に本を借りて何処でも返せる「きんじょの本棚」を「玉川学園町内会支店」「こすもす会館」に加え新たに「まちの縁側」丁目の加々美さんち」に開設し3か所となった、商店会と各種イベント（ハロウィン・スタンプラリー・豚汁会他）の共催、「クリスマスの集い」等の実施

〇2023年度決算報告・会計監査報告・業務監査報告
経理部より、一般会計及び特別会計の決算報告がなされ、その後監査報告が行われました。決算内容は、古川常男様と三宅俊剛様の両監査役により預金通帳・諸帳簿ならびに諸伝票の詳細な会計監査が実施され収支及び財産管理について、正確かつ妥当であることが認められました。また、業務監査として役員会（幹事会）等を傍聴し、役員の職務遂行に関する不正の行為、または会則に違反する重大な事実認められなかったとのことで承認されました。

〇2024年度事業計画方針と活動の進め方

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます。

住みよい
環境を

(1)

防犯意識の高揚をはかり、防犯・環境パトロール隊の活動を推進し、安全・安心なまちづくりをめざします。

(2)

防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりをめざします。

(3)

「混ぜればこみ」「分ければ資源」廃棄物減量と資源物の活用に取り組み、循環型社会の推進をめざします。

(4)

「広報」「町内会だより」および「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。

(5)

関係諸団体とも連携して、子どもから高齢者まで広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。

(6)

会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題の解決に向けた取り組みをすすめます。

(7)

玉川学園町内会（第一地区～第八地区）の地区別活動推進による地域の活性化と近隣の絆の強化を図ります。

(8)

玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。コミュニティバス（玉ちゃんバス）の運行に協力し、交通安全のモラル向上を目指して、啓発活動を展開します。

(9)

玉川学園地区社会福祉協議会の運営を支援します。全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。

(10)

「こすもす会館」「さくらんぼホール」の運営について関係自治会と協働し、その中核として、両施設の円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり、地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。

(11)

町田市町内会・自治会連合会、玉川学園・南大谷地区協議会等の諸団体との情報交換を密にして、地域特有の課題に積極的に取り組んで住みやすい住宅地域としての発展をめざします。

(12)

会員数の増加を目指し、地域活性化事業を活用して、具体的な検討をします。



会長 田代 敏行

新年度にあたり

この度、町内会会長職を拝命いたしました田代と申します。
前任の会長の基本方針を引き継ぎながら「安心で安全な街づくり」「住んで 楽しい街」「これからも住み続けたい街」の更なる前進を目指し力を注いでまいります。
昨年度に続き、今年度の定期総会も一堂に会して開催することが出来ました。
今年度は、役員改選の時期となり、新しい役員と共に新たな気持ちでスタートを切りたいと考えております。
新型コロナウイルス感染症の状況も2類から5類に変更となり、世の中もインフルエンザと同様に上手く共存しながら町内会活動を行っていきます。

町内会では、高齢化が急速に進んでおり色々な問題を抱えておりますが、何とか解決策を見出していきたいと思ひます。
大きな課題としては、町内会役員のなり手不足です。現役世代の方も参加しやすい様に定例会議の回数を減らしたり、開催日を土曜日曜に変更するなど工夫をして役員の負担軽減を行っております。
また、会議への出席が不要で、自分の都合に合わせて参加できる「サポーター制度」を採り入れ積極的に進めております。この制度は、忙しくて中々町内会活動に参加できない方に、定例会議の参加はせずに自分の都合で出来る範囲でイベント等に参加できる制度です。こうした仕組みを通して、町内会活動に関わる方を少しでも増やしてゆきたいと考えております。
その他、現在町内会が抱えている主な課題としては、

- (1)顔の見えるコミュニティの醸成
- (2)退会者が増えている中「町内会への加入を促進」
- (3)いつ発災してもおかしくない巨大地震に備える「地域防災の促進」
- (4)地道に進めなければならないごみの削減などの「環境問題」
- (5)高齢化が急速に進む中「玉ちゃんバス」を含めた「地域交通の在り方」
- (6)高齢化と少子化の進行に伴う「地域福祉の在り方」
- (7)会員の皆様からお預かりしている「資金の使い方」
- (8)町田市が推進している「学校の統廃合への対応」

などがあります。どれも簡単に解決することや実行出来ることではありませんが、地域に数多くある団体とも協力して、会員の皆様のご意見やご要望を賜わりながら役員全員少しでも前に進むことが出来るよう力を注いでいきたいと考えております。会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

副会長の抱負

伊藤 宏 ※経理部部長兼任

前期に引き続き今期も副会長の役を務めることになりました第五地区の伊藤です。
この玉川学園には、2000年に義母の介護の為に家内と引っ越してきたのですが、はや、四半世紀が経とうとしています。
前期は、初めての副会長で戸惑いも多かったのですが、役員の皆さまに支えられ、少しずつ課題の共有ができるようになりました。
近年の町内会は、高齢化に伴う町内会員数の減少(退会)、役員の為り手不足、情報伝達の不備、或は地区による活動の違い等の課題がありますが、町内会の長年の方針と活動の基である「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」、「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、本来の町内会のあるべき姿を改めて問い直しながら、楽しく集える町内会になるよう心掛けたいと思ひます。
尚、今期も経理部長を兼務いたすことになりました。
どうぞよろしくお願いいたします。

古河 博

前年度に引き続き今年度も副会長を務めることになりました。2022年度、23年度は副会長に加えてコミュニティ部部長を兼任しましたが、今年度は部長職を譲りましたのでコミュニティ部に限らず幅広く地域の為にお役に立てるよう努めてまいります。この玉川学園地区が気持ちよく安心して住むことができる街であり、皆さまに愛してもらえる活気ある地区になるよう、これまでの経験を生かしてコミュニティ作りを更に推し進めたいと思ひます。
なお、この地域には町内会の他にも多くの団体が街の活性化のために活動しています。それらのグループとも更に協力・連携して住みよく楽しいまちづくりを目指してまいります。

淵 純男

この度、立候補致しました第三地区在住の淵です。どうぞよろしくお願いいたします。
町内会も8地区45支部と拡大し、日々驚くことばかりです。私は約70年前、この地の開拓者である小原国芳先生の元に入学しました。「最後の人生は君が奉仕しなさい!」と、今でも池の正門に明記されている玉川教育のモットーがあります。『人生の最も苦しい、いやな、辛い、損な場面を真っ先に微笑みを以って担当せよ!』という天の恩師、久々の声が脳裏に響き渡りました。私の人生で忘れられない出来事は2004年の中部地震に遭遇し、教鞭をとっていた被災学生たちと共に『生活と自治』をテーマに『自分たちに今何が出来るか?』を追い続けた支援活動です。そして、走り回っても不十分で遅すぎる政策対応を、必ずや起きうるこの地の防災の一助になればと気負っております。
私を押し出して下さった多くの推薦者と住民の方々の代弁者として、分かりやすいガラス張りの町内会スタッフとして働く所存です。
また、『きんじょの本棚』3丁目店主で、いつも原チャリで走っています。何かありましたら、声をかけて下さい。



2024年度 役員・幹事

※○の数字は地区の地区長

会長	田代 敏行	経理部 部長	伊藤 宏	環境部 部長	木村 彰男	さくらんぼホール	
副会長	古河 博	広報部 部長	小木曾 雄介	副部長	渡辺 哲也	専任幹事	岩崎 けい子
副会長	伊藤 宏	部員	江副 智恵子	部員	堀田 和久	専任幹事	島田 万里子
副会長	淵 純男	部員	島倉 正美⑥	部員	島形 健吾		
総務部 部長	渡辺 哲也	部員	細川 説子		岡 英生	こすもす会館	
部員	入江 恵	コミュニティ部 部長	浅沼 晴美	防犯防災部 部長	校桐木 一宏	専任幹事	澤村 加奈子
総務部付き	中田 勝①	副部長	島田 恵子③	副部長	渡辺 俊朗	専任幹事	山岡 かつ枝
総務部付き	西崎 則江②	部員	緒方 朋子	部員	伊藤 英一⑧	監査役	三宅 俊剛
総務部付き	寺沢 重己④	部員	上野 敦史	部員	遠江 義智	監査役	望月 富雄
総務部付き	遠峰 秀樹⑤	部員	高砂 壽一			相談役	服部 知行
総務部付き	松葉 智明⑦						

各部・部長、副部長の抱負

総務部 部長 渡辺 哲也

総務部は玉川学園町内にお住まいの皆様を幅広くサポートする部署です。町内会活動の運営支援はもとより、自然災害に対する不安・リスク低減・住環境問題・弱者支援等の具体的な事案改善に務めます。そのため防犯防災部・環境部・コミュニティ部・広報部、地区の皆様と連携して相乗効果を高めることを目指します。

＜今期の主な活動事例＞

- 総務事務処理の効率化
- 建築物・宅地の耐震健全性評価・対策の相談・具体的提案支援(専門有資格者による)
- 災害時 要支援者へのサポート(平時見守り活動含む)の構築(地区防災隊・防犯防災部と連携)
- 交通環境問題改善への取り組み

広報部 部長 小木曾 雄介

従来からの町内会だより・町内会広報に、この度リニューアルされたホームページと昨年から採用された公式LINE(ライン)が加わり、町内会の情報発信ツールも以前に比べ格段に充実してきました。只、課題もありホームページが機能強化され使い勝手が向上したことは間違いないのですが、まだ発展途上で利用者に満足して貰えるレベルに達するには更なる作り込みが必要です。LINE(ライン)もスピード感を持った情報伝達には欠かせぬ便利なツールですが、求心力を持つには登録数を今の倍以上に増やす必要があります。長い目で見ればペーパーレスの方向に進むことは勿論ですが、高齢者の多いこの地区では紙の町内会だより・広報に愛着を持つ人も多く、一長一短のある3種のツールの棲み分けも考慮しつつ、会員の皆さんの望んでいる役に立つ町内会の情報をいかにして迅速・タイムリー且つ正確に届けるかを当面の目標とします。

環境部 部長 木村 彰男・副部長 渡辺 哲也

環境部を担当してそれぞれ二期目になり、「暮らしよい環境」を更に充実できるようにしたいと考えています。町内会は町田市地域資源回収特別指定団体の認定を受け、「分ければ資源、混ぜればゴミ」を推進して、循環型社会の実現やゴミの総量を減らす活動をし、住民の皆様の協力もお願いしています。また資源ごみ回収事業からの「奨励金」は特別会計に計上し、社会福祉、青少年や高齢者の活動支援、防災活動等のさまざまな地域活動を支援するために当てています。

桜の散歩路など緑の街並みづくりを目指し、また開発事業に対しては文教地区や建築協約で牽制し、事業者との協議や地域住民の工事協定等の支援をして、専門家を交えた住みよい住環境をつくる協議や相談を受ける努力をいたします。

環境委員の皆さんの協力で長く続いている駅の置き傘の「善意の傘」の整頓、防犯・環境パトロールでは近隣の変化の把握や管理をお願いしています。また坂の町ならではの「憩いの椅子」の設置や管理をして、特に高齢者には一息入れるゆとりを持ってもらいたいと思います。

経理部 部長 伊藤 宏

前々期、前期に引続き、経理を担当することになりました第五地区の伊藤です。皆様ご存じの通り、町内会の会計は、町内会費を基にする一般会計と、資源回収の収益を基にする特別会計(非常用準備費・資源回収収益金)があります。一般会計は、通常の運営・事業に関する会計で、特別会計は、通常の運営以外の経費に関する会計です。

前年度からは、非常用準備費の一部を防犯防災に特化した準備金防犯防災準備金として、分離させ、防犯防災を強化した予算建てをしました。

今期は、前期にも増し、一般会計・特別会計のバランス、又、収支のバランスを考慮しながら、会計のいっそうの健全化を目指してまいります。

町内会活動や、会員皆様楽しんでいただける企画などの必要な費用は充分な予算の確保を考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ部 部長 浅沼 晴美・副部長 島田 恵子

2024年度コミュニティ部は、いろいろな幅広い多くの世代が参加でき、一時的な地域の交流で終わらず持続的なコミュニティ形成を深める為にも役立つ活動を進めてまいります。

街の活性化を目指すのは、玉川学園商店会(駅北口側)、玉川学園南口商店会、そして青少年健全育成玉川学園地区委員会(略して青少建)とも同じ思いで、お互い協力協調しあい協賛イベントを実行してゆきたいと思います。

そして町内会主催のイベントは一年を通じて季節ごとに住民のご期待に添えるように、明るく楽しい新規イベントも提案してまいります。(来期になるかもしれませんが)コミュニティ部は多岐に渡って進んでゆきます。

防犯防災部 部長 校柵木一宏・副部長 渡辺俊朗

今年ほど「備え」の重要性を痛感した年は、なかったのではないのでしょうか。震度7の大地震が元日に発生するなど、誰が想像したでしょうか。玉川学園地区は、過去に大きな震災被害を受けたという記憶がありません。しかし、「輪島朝市通り」がそうであったように、穏やかな日常が未来永劫つづく保証はどこにもありません。

防犯防災部は、これまでも、これからも「備え」の充実を図る所存です。しかし、来るべき震災に即応するためには、マンパワーが不足していると言わざるを得ません。特に、若い人たちの力が必要です。各地区自主防災隊は、お手伝いしていただける方々を常に募集しています。NHKの朝ドラ「カムカムエヴリバディ」に登場していた「判 虚無蔵(ばん きょむぞう)」は、言っています。

『鍛錬せよ。日々鍛錬し、いつ来るとも分からぬ機会に備えよ。判 虚無蔵』防犯防災部は、明日の「大月ひなた」「五十嵐文四郎」の加入を切に切に熱望しております。

専任幹事の抱負

さくらんぼホール 専任幹事 岩崎 けい子・島田 万里子

都営住宅建て替えに伴う跡地利用として誕生した中規模集会施設のさくらんぼホールも早、20年が経ちました。東京都が建設し、町田市に移管されたこのホールは、管理・運営を町田市とさくらんぼホール間で協定を取り交わすという異例な形態の施設です。

その運営は玉川学園地区(玉川学園町内会・第一住宅自治会・興人自治会・松風台自治会・桜ヶ丘自治会)の五町内会自治会が施設委員会を立上げて行っております。

2023年は二十歳のお祝いとして、花いっぱいの花壇にガーデン時計を設置しました。行き交う人に時間が判ると喜ばれているようです!

それと、満開の桜が青空に映えるクリアファイルを作成し、利用者の方々にお配りすることができました。

このたび、日常の活動に加えて首都直下地震等の大災害に備えて地域“防災活動拠点”としてスタートすることになりました。

＝自分たちのまちは、自分たちでまもる＝

これから先、「玉川学園地区・東玉川学園地区防災計画」に基づいて進めてまいります。コミュニティとしての居場所作り全てにおいて、委員・協力員が一つになり管理と運営に努めてまいります。

こすもす会館 専任幹事 澤村 加奈子・山岡 かつ枝

こすもす会館は、木々に囲まれ静かな環境のなかにあります。地域コミュニティの場として、地区の催し物や会議、サークル活動などで多くの方にご利用いただいています。グランドピアノを備えた50畳のホールや、調理設備が整った20畳の調理室(会議室)、2階には落ち着いた雰囲気のと室もあります。

2022年には防犯カメラを設置しました。この「通称ケロカメ」は、当会館の防犯だけでなく地域の見守りも兼ね、安心・安全な地域づくりの一助となっています。大人から子どもまで立ち寄りやすい場所になるように、本と人との出会いがあるようにと、きんじょの本棚もあります。また、会館は災害発生時の活動拠点となります。災害対応型自動販売機・AEDも設置しています。

当会館は、玉川学園町内会と東玉川学園陸会の委員9名と協力委員10名が管理・運営にあたっています。今後も皆様とコミュニケーションをとりながら、地域に寄り添った場所になるよう努めてまいります。

新たな継続利用団体も募集していますので、是非一度ご来館下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

町内会が関わる主な関連団体のご紹介

町田市町内会・自治会連合会(市連)

町田市全域に10会ある町内会・自治会の連合組織の集合体で、町田市との協力を密にしながら市民生活を市政に反映することを目的にしています。

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会(玉南連)

玉川学園地域と南大谷地域にある町内会と自治会の連合体で、広域地域の共通課題解決に取り組むための組織です。上記の市連からの情報を連絡・報告し相談する会議です。町田市に10会ある組織の一つです。

玉川学園地区社会福祉協議会(地区社協)

町田市で最初に設立された、私たちの地域の身近な福祉活動に取り組む組織で、「地区社協」と玉川学園地区で親しまれています。

玉川学園・南大谷地区協議会

玉川学園・南大谷地区の学校や福祉施設などの様々な団体や機関がネットワークを組み、地域特有の課題や共通の課題を共有し連携して解決に取り組むための組織です。

玉川学園コミュニティバス推進委員会

地域の交通や玉ちゃんバスの運行などについて、近隣自治会などと共に、町田市・小田急バスと検討する会議です。

さくらんぼホール

小田急線北側地区の中規模集会施設で、管理運営は町田市より委託を受けた『さくらんぼホール施設運営委員会』が行なっています。

こすもす会館

小田急線南側地区の中規模集会施設で、町内会が中心となって運営しています。



各地区・地区長の抱負

第一地区（緑ヶ丘A,B、玉園台、茜台、新茜台）

地区長 中田 勝

『ハチドリの一滴（ひとしずく）』

緑の減少が止まりません。一人ひとりが地道に育てて行くしかありません
一人よりふたり、ふたりより3人、仲間がいれば掛け算です。
まるで何者かの意図でもあるかのように、人と人の分断が進んでいます。
人は一人では生きて行けません。
『一人の小さな手、何もできないけど、みんなの手と手を合わせれば、何かできる。』
気候変動が進み、真夏の日中など外を歩けなくなる日が直ぐそこまでやってきています。
それでも、日陰を作る緑を増やす努力を続けたいと思います。
手を取り合って、身近な緑を守り、育てましょう。
変なことは、いつの間にか決まっていて、粛々と実行されます。
心配事は、声を上げててもなかなか解決に向かいません。
違和感のある人、声を掛け合って違和感が何なのかを考えましょう。
引きこもって居ないで声をかけてみると、笑顔が返って来るかも知れません。
まず、向こう三軒両隣に。

第二地区（月見ヶ丘A,B、紅葉ヶ丘、桜ヶ丘A,B,C）

地区長 西崎 則江

地区長の活動を始めて3年目になります。
今年度の活動は二つの交流事業、「葉っぱを集めて焼き芋会」（12月頃）と「花をめぐって焼き団子」（4月頃）をさくらと緑のプロジェクトと共催で開催の予定です。
また自主防災隊のメンバーと連携しながら、年間予定表を組んで防災訓練にも力を入れていきます。
元支部の役員の方が経験を生かして活動を継続していただくことが地区の財産となっています。仲間を増やすことで、一人一人の活動の負担が少なくなり、アイデアも豊富になり活動が楽しくなります。
また、一人暮らしの高齢者の方たちや、子どもたちの見守りをすることも地域では大切なことです。月曜日の朝、7時40分～8時10分、玉川学園中央幼稚園前の横断歩道、郵便局の坂道で登校の見守りをしています。登校時は交通量が多く、坂道は対向車が来た時に歩道に乗りあげて、とても危険です。見守るメンバーがまだまだ足りません。お近くの方で30分間の見守りボランティアをしていただける方は地区長までご連絡をよろしくお願いいたします。

第三地区（朝日ヶ丘、新玉園台、学園台、南学園台、南ヶ丘）

地区長 島田 恵子

第三地区地区長の島田です。
今年で五年目となります。今年も引き続き、地域の交流に繋がるような、地区の皆さんが実際に顔を合わせる活動をしてゆきたいです。
また地震などの災害対策も進めてゆけたらと思っています。
・地区交流イベント「無償交換会」を開催する。
・地区防災訓練、安否確認カード出しの訓練を行う。
今年もこれらを基本に行います。
いつも地区の方々にはご協力いただけて感謝しています。
今年もよろしくお願いいたします。

第四地区（桜ヶ丘D、美鈴台、五小台、玉林台、新玉林台、静林台）

地区長 寺沢 重己

第四地区長2期目を務めます。1期目の反省を踏まえて、各支部役員・協力員、地区自主防災隊の皆様と力を合わせて、第四地区の取組みを進めます。
当地区は、町田第五小学校の北側から東側および小学校の西側の玉林台駐在所先方面に位置し、6支部（「桜ヶ丘D」「美鈴台」「五小台」「玉林台」「新玉林台」「静林台」）、294世帯が加入（2024年4月末）しています。町内会加入率は60～90％と高水準ですが、昨年度当初の315世帯からは約20世帯が退会しており、町内会・地区会活動に大きな課題を示しています。
地区運営としては、毎月「防犯・環境パトロール」を、隔月で「地区会・地区防災会議」を開催し、情報・課題を共有して、「防災」「環境」を中心に地区独自の取組みをすすめます。また、自主防災隊では各種訓練の実施や意識啓発に取り組んでいきます。
ご協力をよろしくお願いいたします。

第五地区（池の台、松風台A,B、雲雀ヶ丘A,B、夕日ヶ丘A,B）

地区長 遠峰 秀樹

「一期終わり2期3年目に入った地区長として」
全く町内会の仕事を今まで経験していないまま地区長に押し出されて2年間、引きつぎもなく全く見様みまねでやってきました。この2年間で感じたことは、町内会員の方々の思いと町内会が行なっていることに大きなGapがあることでした。
そこで今年の年初から各支部を訪問し各支部長、班長の方々とお会いしご意見をお聞きすることから始めました。同時に防災隊長・渡辺様、前防災隊長・元木様にも参加をお願いし、消火栓の位置とその位置からスタンドパイプをつないだ時どのくらいまで最大パイプが伸び放水消火が可能なお宅があるか、並びに防火槽、消火器の場所などの確認もしています。いままでに第五地区7支部あるうちの3支部の訪問を終わりました。
まず防災ですが、いざことが起こったら町田消防署と警察署から「消防車は初期の状況では、玉川学園の中に入ってこれない」と突き放した事前情報を聞いています。そのときに各支部の防災体制でどう初期消火を行い延焼を食い止めるかを、十分話し合いをおこない準備をする必要があることを感じています。
また、町内会に対しては、非常に厳しいご指摘を会員の方からお聞きしています。町内会は会員に何をしてくれているか？町内会の存在価値は何があるか？など、まだまだ努力がいると思います。また、実際に支部を回って気が付いたことは、支部の区割り が会員の入退会でいりくんでおり、区割りの再編成が必要だということです。今年は、もっと会員の声をじかにお聞きして町内会活動に反映するようにしたいと思います。

第六地区（つつじヶ丘、東急台）

地区長 島倉 正美

「町内会に入っていてよかった。」このような声が聞こえてくる町内会を目指しています。
地域組織（町会・自治会・自主防災組織など）に属さない、且つ、ご近所同士のお付き合いも希薄という世帯は、発災時の防災活動から取り残される可能性があります。実際、阪神淡路大震災をはじめ多くの震災で、初動の防災活動から取り残され遺体で見つかった事例が報告されています。逆に、ご近所の方からの通報によって助け出され命拾いした例も多数報告されています。住人同士の結びつきが強い地域の人的被害は少なくなっています。
「町内会に入るメリットは何ですか？」転入してきた若い世代からよく聞く言葉です。自身や家族の命が守られる可能性が高くなるというのは、とても大きなメリットだと思います。家族を家に残して職場に出かけている間、いざというときに手を差し伸べることができるのは、地域組織です。是非、町内会に加入することをお勧めします。また、高齢者世帯は町内会に留まることを強くお勧めします。

第七地区（鶯谷、旭ヶ丘東A,B、旭ヶ丘西、星ヶ丘A、向陽台B）

地区長 松葉 智明

今年度の第七地区の地区長をさせていただきます。初めての地区長で不慣れではありますが、諸先輩方にご指導いただきながら精一杯やらせていただきますのでよろしくお願い致します。
昨今、ライフスタイルが多様化し、必要な情報もSNS等で簡単に入手可能な現代社会では町内会の必要性を疑問視する人もいますが、過去の自然災害や地域防犯の教訓から、地域の人との交流や、住民同士の助け合いは不可欠であり、それを助成する町内会は地域にとって重要な役割があると思います。
そうした意味からも、第七地区では自主防災隊が中心となって作成頂いた年間防災活動計画を軸に、防災・防犯の知識や実務を高めながら、地域の皆様との交流も深めていきたいと考えております。
また、コロナ禍で思うようにできなかった地区内イベントにつきましても、イベントサポートメンバーを中心に企画頂き、良い「ご近所づきあい」のきっかけとなる機会を提供できればと考えております。
もちろん、ご協力頂く皆様の負担は極力減らしながら、無理なくよりよい第七地区にしていけたらと思っておりますので、簡素化等の良いお知恵があれば、是非ご提案ください。

第八地区（星ヶ丘B、向陽台A、松見ヶ丘A1,A2,B1,B2,C、化石谷）

地区長 伊藤 英一

過去4年間地区長を担当し、これが最後との思いで引き続き担当させていただくことになりました。第八地区は、町内会において会員数と支部数ではトップ地区で、幹事と支部3役及び自主防災隊員を含め38名の陣容を擁しており、まずは、各役員間の情報共有と連携を図っていきます。それを前提に、町内会の「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の基本コンセプトの具体化として、2024年度定期総会4号議案の第八地区事業計画を地道に進めていきたいと考えています。
また、ここ30年以内に直下型地震の発生率が70％程度と言われており、能登半島地震も記憶に新しくその惨状を見るにつけ、自助としての個人でできる防災準備と共助としての防犯防災部や自主防災隊を核とした町内会の防災取組との並行した取り組みを強めていきたいと考えています。特に第八地区管内の8丁目地区は、木造家屋密集地域として認定されており、地震火災そのものを発生させない感震ブレーカーや消火器の設置勧奨や地震火災に対するスタンドパイプ等の消火対応力向上に向けた、防災訓練や防災知識の普及を引き続いて取り組んでいきたい。

広報部より 町内会活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご質問、ご感想等ございましたら、お名前をご記入の上、町内会事務所までお寄せください。尚、お電話にての対応はお受けいたしかねます。

〒194-0041 町田市玉川学園2-19-5 玉川学園町内会「広報部」宛

Fax 042-725-0438 Mail t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp